

Q：寒冷地仕様の装備を教えてください。

寒冷地仕様をメーカーオプションにて、ご用意しています。
 選択いただくと、以下の表のとおり、装備されます。
 なお、北海道地区の場合は寒冷地仕様が全車標準装備となります。

<○：設定あり -：設定なし>

装 備	説 明	寒冷地仕様	標準仕様	ハイブリッド車	ガソリン車		
				EX	EX		4WD
				2WD	2WD		
				CVT	M/T		
ウィンドシールドワイパー	ワイパーモーターが寒冷地用で強力になります。	寒冷地用 (モーター)	標準	○	○	○	○
冷却水 (LLC)	寒冷地では、エンジン内を循環している冷却水の濃度が低くと凍ってしまうことが考えられるので、冷却水が凍らないように濃度を上げております。 通常の濃度である、30%だと-15度ぐらいで凍結しますが、濃度を50%にすると凍結温度が下がり、約-35度ぐらいにならない限り、凍結しなくなります。	LLC濃度 50%	LLC濃度 30%	○	○	○	○
フロントドアガラス	フロントドアガラスに撥水機能を持たせています。	撥水機能あり	撥水機能なし	○	○	○	○
ドアミラー	ドアミラーを暖めて霜・露・雨滴を取り除くヒーターが付いています。	ヒーター付	ヒーターなし	○	○	○	○
リヤワイパー	ウォッシャー連動間欠リヤワイパーが装着されます。 雨や雪などを拭き取り、ドライバーの視野を確保します。	あり	なし	○ *1	○ *1	○ *1	○ *1
リヤウィンドウデフォグ	リヤウィンドウデフォグがタイマー付となります。	タイマー付	タイマーなし	- *2	○	○	○
ウィンドシールドデアイサー	雪だまりや凍結により、ワイパーが動かなくなることを防止を目的にフロントガラスに熱線を配したものです。(下図1参照)	あり	なし	○	○	○	○
フロントヒーター	エンジン始動直後からエンジンが暖まるまでの間、通常のヒーターに加え、暖房を補う装置(電気式補助ヒーター)です。 エンジンの冷却水温が低いときの室内暖房に貢献します。 即熱性があるため、短時間で暖房がききます。	補助ヒーターあり	補助ヒーターなし	○	○	○	○
ヒーターリヤダクト	後席足下にダクトを設け 温風を送り 足の冷えを防止します。 (下図2参照)	あり	なし	○	○	○	○
バッテリー	バッテリーの容量を上げます。	55D23L	46B24L	- *3	- *4	○	○
スターター	エンジンの始動性を向上するため、スターターの容量を上げています。	1.3kW	1.0kW	- *5	- *6	○	○

- *1 リヤワイパー(ウォッシャー連動間欠リヤワイパー)は全車メーカーオプションです。単独でメーカーオプション設定があるため、寒冷地仕様を選択しない場合でも、選択できます。
- *2 タイマー付が標準仕様です。寒冷地仕様を選択しても変更はありません。
- *3 ハイブリッド車のバッテリーは、寒冷地仕様を手配しても変わりません。【補機バッテリー：LN0(欧州規格)】
通常、寒冷地ではエンジン始動時の負荷が大きいため、バッテリーを大きくしますが、ハイブリッド車は、より大きな駆動用バッテリーでエンジンを始動するため、補機バッテリー変更の必要がありません。
- *4 ガソリン車の2WDのCVT車は、専用のバッテリーが装着され、標準仕様・寒冷地仕様とも(専用)S-95となります。
- *5 ハイブリッド車は、発電モーターを使用してエンジンを始動するため、ガソリン車のようなスターターはありません。
- *6 ガソリン車の2WDのCVT車は、専用のスターターが装着され、標準仕様・寒冷地仕様とも1.7kWとなります。

<上記寒冷地仕様以外でおすすめの装備>

装 備	説 明
リヤフォグラブ *7	霧・雪・雨などにより視界が悪い時にクルマの存在を後続車に知らせるための赤色灯です。 リヤフォグラブはバンパーの右側に埋め込みます。(下図3参照)
ウィンターブレード *8	降雪時、通常のワイパーブレードではフレームに雪が付着し、凍りついてワイパーとしての機能が低下します。そこで、ブレード本体を特殊合成ゴムラバーで覆い、寒さによる固着を防ぎ、雪や雨を拭き取り、視界を保つようにします。

- *7 リヤフォグラブは全車販売店装着オプションです。寒冷地仕様を選択した場合のみ、販売店装着オプションで選択できます。
- *8 ウィンターブレードは全車販売店装着オプションです。寒冷地仕様を選択しない場合でも、販売店装着オプションで選択できます。

